

順化地区の誇り

歴史を語り継ぎ新たな文化を創造するまち順化



「福井城址お堀の灯り」は築城以来の往時を偲び、また空襲や震災などで亡くなった人々を鎮魂し、市民ぐるみで福井のまちづくりを推進するものである。平成22年、順化地区住民を中心に350個から始められたライトアップ事業であるが、平成28年には、お堀の水面に2000個余りと地上の灯りを含め、福井藩68万石にちなんで、合計6800個の美しい揺らめきを醸し出した。市民憲章「不死鳥のねがい」のごとく、鎮魂の灯りを語り継ぎ、次世代へ希望の灯りとしてつなげることが願いである。また、空襲や震災のアーカイブにも取り組み始めた。



「私たちが考える私たちの公園」福井市中央公園再整備事業にあたり、郷土学習事業として住民が何度も集まり話し合い、新中央公園の提案を行った。歴史が見える公園、市民が楽しめる公園の2本の柱をコンセプトに進められている。

順化万霊供養塔は、順化地区自治会連合会を中心に区民の浄財により建てられた慰霊塔である。昭和42年、県庁横御本城橋のもとに建設され、現在は順化小学校を背にお堀の前にある。これが、お堀の灯り事業の原点である。



順化お堀の灯り実行委員会 実行委員長  
海道 映諄さん

平成24年から順化地区自治会連合会役員。平成28年順化お堀の灯り実行委員会初代実行委員長に就任。カヤック操縦による灯り設置を取り入れスピーディな事業展開、歴史を語り継ぐ重要性を説き、アーカイブ作業に尽力している。

順化公民館

住 所／福井市大手3-11-1  
電 話／0776-20-5458  
交通機関／JR「福井駅」から徒歩5分